

教科	科目	学年	単位数
中学校技術・家庭	家庭分野	3年	0.5
使用教科書		副教材	
技術・家庭 家庭分野（開隆堂）		家庭科ワークノート（地域教材社）	

1. 学習到達目標

衣・食・住などに関する実践的、体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

2. 評価の観点と方法

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
<p>家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>主に定期テスト・作品をもとに評価する。</p>	<p>家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを理論的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。</p> <p>主に定期テスト・ワークシート・調べ学習をもとに評価する。</p>	<p>自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p> <p>主に提出物・持ち物・授業態度をもとに評価する。</p>

3. 学習内容（右ページ参照）

4. その他（科目の特徴や学習の注意点など）

- ・毎日の生活そのものが学習題材となるので、身の周りのいろいろなものに関心を持って疑問や知りたいことを見つけましょう。
- ・家庭科は実習、発表など生徒自身が主体となる授業内容が多くあります。積極的に授業に取り組みましょう。
- ・授業で学んだことは、できるだけ自分の生活の中で実践してみましょう。

	月	単元・試験	授業内容	その他（到達目標・学習のポイントなど）
一学期	4	○お弁当をつくろう	お弁当の献立を考えよう (調理実習)	<ul style="list-style-type: none"> ・主食、主菜、副菜のバランスを考えて献立を作成します。 ・お弁当の主菜、副菜の調理に挑戦します。
	5		①ハンバーグ	
	6		②筑前煮	
	7	○日本の伝統的な食文化を受け継ごう	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の行事食について ・和食のマナーについて ・地域の食文化を知ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の行事食について知り、行事食を生活に生かすことができるようにします。 ・一汁三菜の和食のマナーを身につけます。 ・郷土料理について理解を深めます。
		期末試験	・体育祭ハチマキの製作	・ミシンを使い、三つ折り、端ミシン、方向転換などの技術の確認をします。
二学期	9	○人間の発達について考えよう	・幼児の身体、運動、言語、心の発達	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長発達についてふり返り、人間の成長、発達の特徴と仕組みを理解します。 ・人間の成長、発達と家族・社会との関係について学習します。
	10	○幼児にとって遊びは何だろう	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの意義 ・遊びの発達の特徴 ・絵本の読みきかせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の体験した遊びを思い出し、いろいろな遊びから身につくことを考えます。 ・遊びによって幼児は大きく育つことを学習します。
	11	○保育園を訪問しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園訪問計画 (発達段階の確認、遊びの計画、体験で使用するものの製作、絵本の読みきかせの準備) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容をふり返り各発達段階に合った遊び、絵本の読みきかせなど交流の準備をします。
	12	期末試験		
三学期	1	学年末試験	・保育園訪問、体験交流	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の生活を観察し、幼児と遊んでふれ合いの楽しさや喜びを味わいます。 ・対象児の個性や気持ちを大切にしたり関わりを通して乳幼児の理解を深めます。
	2		・保育実習レポートをつくらう	・幼児とのふれ合い体験をレポートにまとめ、これからの自分にできることを確認します。
	3		・幼児のおやつ	・幼児の喜ぶおやつ作りに挑戦します。